

露地オクラの栽培

①圃場の選定

オクラの播種の時期が近づいてきました。圃場の選定はできてい

るでしょうか。オクラの本圃は、日当たりがよく灌排水のよい水田を選びましょう。更にセンチュウの被害が予想されるような所は避け、できるだけ水稲栽培跡を選ん

②センチュウ

運作をする場合では、できればセンチュウの有無を調べておいた方がよいでしょう。センチュウの被害が予想されるが他に移る事ができない場合は、薬剤の処理が必要となります。

この場合、臭化メチル燻蒸剤は浸透性があり、根の中のもの、卵にも効果がありますが、地表近くしか効果は期待できず、深いものに対して問題があります。D—D剤では、臭化メチルに比べて深い所まで効果はありますが、浸透性がないため根の中のもの、卵には

効果が期待できません。両剤には以上のような特徴があります。これを生かして効果的に薬剤処理を行うためには根を腐らせることがたいせつです。

根を腐らせることは、センチュウの孵化を促進させることになりま。センチュウが土中へできるだけ出た後、施用すると効果があります。薬剤の処理をする場合は、引き上げ後できるだけ放置した後、処理することがたいせつとなります。処理は急がないでください。

③有機物の施用

反対に早めに準備をすることが必要なものもあります。生わらなど有機物を施用する場合は、遅くならないように早めに施用してください。未分解の有機物を多く含んだ土壌では、立枯れ病の発生を助長するおそれがあります。立枯

れ病もよく見られる病気ですので、この点にも注意が必要となります。

このほか詳しいことは、栽培基準に記されていますのでこれを参照してください。

【南国農業改良普及所】



南国歌壇

憂き年は脱免の如く去って行け

今年は幸運たつとしかも

甘枝 岡林きよ

霜枯れし庭にはころふ蝦梅の
芳香ゆかしく春を待ちつつ

中谷 北村照美

久びさに同窓会でいつまでも
恩師かこみて話はつきぬ

植野 今原文子

年なればあまりのむなとやかまし

妻の土産は地酒四合

下野田 中島富義

隣家の地鳥は今朝も甲高く
改造されし冷蔵庫に鳴く

大埔 田所志奈

南国柳壇

妻逝きて独り見上げる月寒し

十市 武市日出志

七草や一つたりないなづ菜哉

立山 北村幸江



南国俳壇

雄鹿が少しはなれて冬の雨

寒に入る先の矢りしもの嫌い

野水仙 活けていつもの二人なり

ガラス戸に衣づくろいして年始かな

満天の星座降りくる冬木立

冬あさみわずかに色を残しけり

横田明義 (岩村句会)

溝淵由紀男 ()

池 さち ()

浜田美知 (福生葉月会)

岩崎佳江 ()

沢本吉子 ()